



# 自民党・無所属 大阪府議団だより

## 今西かずき議員 が府議会で一般質問

今西議員は6月2日に開かれた大阪府議会の本会議で一般質問に立ち、森友学園問題への検証報告などについて松井知事に質問し、問題点を追及。また、万博誘致やIR推進へのしっかりした取り組みを求めました。

### 森友学園問題

信ぴょう性に非常に疑問が残る  
調査結果…より突っ込んだ調査を!

検証報告

**Q. 今西議員** 報告書(※)は、身内である私学課職員の聞き取り調査だけで、学園や近財職員など関係者を対象に行われていない。私学審の審査基準についても私学課は校舎敷地が借地である場合は基準に適合しないが将来的に自己所有の見込みがあれば問題ないとの認識に対し、私学審の梶田毅一会長は「認可の段階で自己所有かどうかが大ごと」と発言し、大きなズレがある。より突っ込んだ調査が必要である。

(※大阪府は学校法人森友学園瑞穂の園記念小学院の設置認可申請に関し、府職員が校舎敷地を府審査基準に適合すると判断したことについて検証結果を報告書にとりまとめた。)

**A. 松井知事** 小学校の設置許可の申請や補助金に関して必要な調査は全て行い、結果を公表し、告訴を行いました。私学審議会の答申においても梶田毅一会長自らが説明いたしております。

今西議員 意見 答弁として非常に不十分だ。

### 一番の被害者である就学を 予定していた児童の状況は?

**Q. 今西議員** 一連の森友学園の事案では就学予定であった児童、保護者に大きな不安を与えてしまうことになった。一番の被害者である児童、保護者への対応や4月からの状況はどうか。

**A. 教育長** 教育庁として府内全市町村教育委員会及び大阪府私立小学校連合会に地元の小学校での受け入れに係る配慮要請の文書を出し、4月には全ての児童が入学した旨の報告(公立・私立小学校)を受けました。

### 知事の審査基準の緩和こそが問題の一因! 府の歯切れ悪い答弁はもうたくさん、百条委員会の設置で真相解明を!

**Q. 今西議員** 今回の問題はそもそも知事が森友学園から要望を受けて平成24年に私立小学校設置許可基準の審査基準を緩和しなければ、起こらなかったのではないかと。結果的に小学校設置申請の後押しをする格好になっている。

**A. 松井知事** 反省点としてはチェックの体制が少し甘かったと。相手側を信用し過ぎていたところに問題点があります。これからはチェック機能を強化して、この規制緩和、切磋琢磨により教育の環境が高まるよう続けてまいります。

### 今西議員 要望

しっかりと制度で固めないと同様なケースが相次ぐ。教育常任委員会(5月31日)での職員の答弁も非常に歯切れ悪く、真相究明にはほど遠い。私たち会派はより調査権限の強い**百条委員会**の設置を要望する。

## 2025日本万国博覧会

誘致に向けた推進体制は万全か?

### 万博誘致推進本部の目的や取り組み方針

**Q. 今西議員** 2月の議会で私たち会派の万博誘致に向けた庁内トータルの推進体制が必要との代表質問に知事から「府内整備をしていく」との答弁があったが、これを受けて4月に立ち上げた大阪府万博誘致推進本部の目的や取り組み方針について問う。

**A. 政策企画部長** 推進本部は知事をトップに全庁横断的な組織として設置し、万博誘致に向けた機運醸成と万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を先取りした施策の展開に取り組んでまいります。

### 万博誘致を成功させる

**Q. 今西議員** ロシア、アゼルバイジャンが立候補し、パリと日本の4カ国で誘致を争うことになったが、勝ち抜くために、相手国の分析・情報収集を行うべきである。

**A. 政策企画部長** まずフランスはBIE(博覧会国際事務局)がパリにあり、万博開催経験豊富、ロシアは2020年の万博にも立候補するなど選挙戦の進め方を熟知、アゼルバイジャンは立候補は初めてながら五輪への立候補経験を有するなど、全ての立候補国が強敵であると考えております。

## 大都市制度

特別区制度と総合区制度のみ検討するべきでない!

### 現状維持を望む声を無視するつもりか

**Q. 今西議員** 昨年度の住民説明会では「24区のまま総合区がいい」「合区しない総合区も検討して」という意見のほか、「現在の24区のままがいい」という声も多かったようだ。副首都推進局では大阪市を廃止の特別区制度と存続の総合区制度を同時に検討していく方針だが、現状維持を望む声にはふたをしてしまうのか。

**A. 副首都推進局長** 24区のままがよいという意見があった一方で、大都市改革を進めてほしいという意見もあり、今後、住民の皆さんの意見や議会での議論をふまえ、特別区と総合区の両制度について具体的な案の設計を進めてまいります。

**Q. 今西議員** 答えになっていない。住民の理解が得られているとは言い難い状況の中、今後の総合区検討のスケジュールはどうか。また、住民への説明はどのように行うのか。

**A. 副首都推進局長** 総合区については、区割り、事務所の位置、組織などを具体的に示す素案を8月頃にまとめる予定で、議会で議論いただき、住民の皆さんへの説明は議会後、検討を進めてまいります。

### 今西議員 要望

この指針を策定する以前から、多くの事業者のアプローチがあったと思われるが、これまで**接触のあった事業者についてはさかのぼって面談記録の作成などはしないか**。IR事業の推進は巨額な資金が動くことにもなるので、本事業にかかわる**職員は情報管理の厳格化はもとより本指針にもとづき、公平公正な職務の遂行を強く要望する**。

## 総合型リゾート<IR>

巨額な資金が動くIR事業  
対応ルール公平公正厳格に!

**Q. 今西議員** IR推進局が事業者とのルールを定めた指針を策定した、その目的や内容は、公平性、公正性確保の観点から、職員の事業者対応指針を作成し、意見交換などを行う場合の事前手続きや面談記録の作成など定めてごさいませう。

いまにし  
今西 かずき

プロフィール  
大阪市福島区・此花区選出

私立清風高校 卒業。関西学院大学文学部 卒業。産経新聞社会部記者として勤務。衆議院議員政策担当秘書として勤務。現大阪府議会議員。教育常任委員会。

